

平成 27 年度(2015 年度) 理事会のポイント(第 5 回理事会まで)

第 1 回 平成 27 年 6 月 14 日理事会

(主な議案)

- ・代表理事に星野正史理事が選任された。

第 2 回 平成 27 年 7 月 5 日理事会

(主な議案)

- ・新理事の役割について、理事会にて承認された。

—副会長に井原健三、山本正秀、米丘 健

—専務理事に齋田 守

—常務理事に東 伸行、伊藤一人、江村宏二、釜井昭人、宮脇信介

—業務執行委員については、理事が担当する委員長の責任が大きいことを確認した。また、各委員会については人数等に特に制限がないことが合わせて確認された。

- ・前理事会からの引継ぎ事項について星野会長と総務・企画委員会から説明があり、新理事会において確認された。

—前理事会は「不正経理問題」への対応を中心に、過去の清算とその対応に費やされてきたが、今後は、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れ、大きく前進するためには、新理事が一丸となって前進する必要がある。

以下の課題について、会員の皆様からのご協力を衷心よりお願いしたい。

- ① 「不正経理問題」の経緯と対応
- ② 理事会・事務局体制の刷新強化
- ③ 財政基盤の強化
- ④ 透明度強化の推進
- ⑤ 東京オリンピック・パラリンピック等その他の今後の主要課題への対応

第 3 回 平成 27 年 7 月 26 日理事会

(主な議案)

- ・組織体制について審議した。

—必要に応じて組織体制をある程度柔軟に変更していくことが確認された。

—財務委員会に、山本副会長、江村理事、三野理事が委員として加わった。

- ・理事会の代理出席については法的な制約があり、委員長不在の場合は審議事項の提案や報告を行うことは出来るが、他の審議事項については聞くことはできず、議決権は無いことが確認された。

・クラウドファンディングの進捗状況について報告された。

第4回 平成27年9月12日理事会

(主な議案)

- ・会に先立ち、9月10日急逝された井原副会長に哀悼の意を捧げる黙とうを行った。
- ・広報委員会のガイドラインが了承された。
- ・メール・マガジンの発刊の検討が了承された。
- ・リオ五輪にむけた特別強化については予算面の制約から継続審議となった。
- ・個人登録既定の運用方法について議論がされた。
- ・ベテラン委員会から、アジアマスターズおよび世界ベテランの派遣選手について報告された。
- ・アジア・フェンシング委員会において、女性役員の比率を高める目標が決議されたこと等が報告された。
- ・車いすフェンシングについて、国際審判と技術講習会を京都で行った旨の報告があった。また、東京でのオリンピック・パラリンピック開催を見据えて、車いすフェンシングの審判員と選手育成を行う必要性が示された。

第5回 平成27年10月18日理事会

(主な議案)

- ・井原副会長のご逝去にともない、学連理事会の推薦者を(公)日本フェンシング協会顧問とし、次回の総会まで理事会に出席していただくことが了承された。尚、顧問は理事会に出席し意見を述べるができるが、議決権は有しない。
- ・強化本部から 2015 世界ジュニア・カデ選手権 日本代表(男女フルーレ)選考方法について説明および確認が行われた。
- ・審判制度の見直し、FJE 登録規定改定等が議論され、了承された。
- ・日本フェンシング協会主催の大会において、今後原則として、結果速報をホームページに掲載する担当者を大会本部内に置くことが了承された。
- ・2020 東京五輪に伴う、事前合宿などについて体制強化の方向が確認された。
- ・理事会議事録の要旨をホームページに掲載をする方向性が了承された。
- ・日本フェンシング協会情報誌メール・マガジンの発刊に向けた状況報告が行われた。
- ・高円宮牌の準備状況について報告が行われた。

以上